

2024年5月13日

各位

東京都千代田区麹町三丁目2番4号  
会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス  
代表者名 代表取締役社長 岡田 淳  
(コード番号: 7777)  
問合せ先 取締役 新井 友行  
電話番号 03 (3511)3440

## 炎症性腸疾患領域における安全性および有効性検討のための 医師主導特定臨床研究開始のお知らせ

株式会社スリー・ディー・マトリックス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田淳、以下「当社」）は、自己組織化ペプチド技術を用いた吸収性局所止血材「ピュアスタット」について、公立大学法人札幌医科大学にて炎症性腸疾患（Inflammatory Bowel Disease：IBD）領域における安全性と有効性を検討するための医師主導特定臨床研究<sup>\*1</sup>が開始されましたので、お知らせします。

本特定臨床研究においては、当社止血材「ピュアスタット」の安全性と有効性の検討を行い、将来の適応拡大への足掛かりとしたいと考えております。

炎症性腸疾患（IBD）は、消化管に炎症が起こる慢性的な疾患の総称で、主な病気に、クローン病と潰瘍性大腸炎が含まれます。

クローン病は、消化管の至る所に発生し、炎症が深い層から浅い層まで、また、口から肛門までの消化管全体に発生することがあります。一方、潰瘍性大腸炎は、大腸に炎症が起こるもので、直腸から始まり、結腸（大腸）にかけて広がることが多く、また、炎症が表面的な層に限定されていることが多い疾患です。

炎症性腸疾患（IBD）の原因は明確でなく、遺伝的、環境的、免疫学的な要因が関与していると考えられており、一度発症すると再燃と寛解を繰り返します。主な症状は、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満感、吐き気、嘔吐、疲れ、体重減少などで、重度の場合には、貧血や栄養不良も見られることがあります。治療には、抗炎症薬、免疫抑制剤、生物学的製剤、栄養補助療法、外科的手術などがありますが、現在完治させる確実な治療法はありません。

炎症性腸疾患（IBD）領域の市場規模は、グローバルで数兆円と推計されております。当社は、米国において、直腸の粘膜炎等の治療に対する製造販売承認を取得しており、これは炎症性腸疾患（IBD）領域への足掛かりとなります。今後は早期に Proof Of Concept（POC）を取得することを目指し、POCを取得した暁には、本格的な開発を開始する計画です。

なお、本件による通期の業績および中期経営計画への影響はございません。

以上

※1：特定臨床研究は、特定の医薬品や医療機器の安全性や有効性を評価するためにヒトを対象として行う臨床研究で、実践的な臨床データを集めることを目的とします。